

輝いてます！

街で出会った
いきいきさんを
ご紹介します

「タグラグビーで
企業を活性化」



(株)Warai 兄弟社
代表取締役
新井 孝一 さん(東別府)

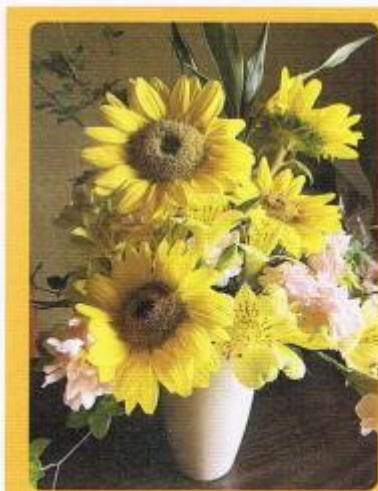
前進しながら楕円のボールを後ろに送るラグビーのプレーはそのまま残し、タックルなどの激しい接触を無くすことで、安全にプレーを楽しむことができるタグラグビー。新井孝一さんは、そのタグラグビーを使ったユニークな研修方法で、企業を活性化する取組を行っています。

新井さんは、深谷高校ラグビー部出身です。歯科技工士として働いた後、歯科サポート会社に勤務し、そこで「歯科医院にはチームワークが大切だ」ということを痛感します。そんな中、元ラグビー選手で、タグラグビーを用いた企業研修システムを開発した村田祐造氏に出会い、師事。「大好きなラグビーで、歯科医院をサポートできるのでは」と、地元熊谷で起業しました。今では、子どもたちへのタグラグビー指導や歯科業界以外からの研修依頼も多いとのこと。

例えば、新入社員研修でタグラグビーを導入します。すると、顔を合わせただけの新入社員がすぐに仲良しに

「母が生ける向日葵」

風間 麗子さん(肥塚) 撮影



また、リーダーシップを取り始める人、慎重に分析して行動する人など個性も見え、配属の参考にする企業もあるそうです。

老若男女一緒に楽しめるように、走ることを禁止して行うことも。いろいろな制限の中でラグビーを体験すると、アイデアを出し合い、助け合い、まさに「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」(一人はみんなのために みんなは一つの目的のために)のラグビー精神を体感します。研修後の職場は、みんな笑顔。チームワークが良くなり、業務も円滑になったとの報告が届きます。「ラグビーの力ですごくいいですよ」ラグビーの新たな魅力を、独自の方法で広めている新井さんです。

